

履修年次	科・コース	教科名	科目名	単位数	履修形態
高2	普通科（一貫特進）	数学	数学Ⅱ 数学Ⅲ	5	選択

テキスト	新編 数学Ⅱ（数研出版） 新編 数学Ⅲ（数研出版）
その他の教材	クリアー数学Ⅱ+B問題集(数研出版) クリアー数学Ⅱ完成ノート（数研出版，分野ごとに分冊） クリアー数学Ⅲ問題集（数研出版）

目標	数学と人間との関わりや、社会生活において数学が果たしている役割について理解させ、数学に対する興味・関心を高めると共に、数学的な見方や考え方のよさを認識し、数学を活用する態度を育てる。
学習のねらい	数学Ⅱ 数学Ⅲ 極限、微分法および積分法について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。
定期考査	中間テスト・期末テストともに実施。
評価の観点 および 評価の方法	学期評価 中間テスト期末テスト合わせて8割程度。平常点2割程度。 学年評価 学期評価を総計して3で割ったもの。 平常点 ・確認テストやノート提出等
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ●通常の授業に持参してもらうのは、以下の通りです。 <ul style="list-style-type: none"> ・『数学Ⅱ』の教科書 ・『クリアー』+問題集用ノート または完成ノート ・授業用ノート（1冊） ●分からない所は、早めに質問に来ること。後でいいと思っていると分からない所が多くなりすぎて、結局勉強しなくなるからです。 ●何度も復習すること。クリアー問題集を確実に解けるようになれば、基礎力+αの実力はついています。

桜の聖母学院中学校・高等学校 年間指導計画

期	月	学習項目・学習内容	テストと評価
1 学 期	4 月	数学Ⅱ 第4章 三角関数 三角関数とそのグラフ、三角関数の性質 三角関数を含む方程式・不等式	
	5 月	第5章 三角関数の加法定理とその応用 指数関数と対数関数 指数の拡張 指数関数	中間テスト
	6 月	第6章 対数とその性質、対数関数 常用対数 微分法と積分法 微分係数、導関数とその計算	期末テスト
	7 月	接線の方程式 関数の増減と極大・極小、グラフの応用	
夏季 休業		1学期の総復習を課外、学習合宿で行う	
2 学 期	8・ 9 月	不定積分 定積分 定積分と図形の面積	
	10 月	数学Ⅲ 第1章 複素数平面 複素数平面、極形式 ド・モアブルの定理	中間テスト
	11 月	第2章 複素数と図形 式と曲線 放物線・楕円・双曲線 2次曲線の平行移動、直線との関係 曲線の媒介変数表示 極座標と極方程式	期末テスト
	12 月	第3章 関数 分数関数・無理関数 逆関数と合成関数	
冬季 休業		2学期の総復習を課外と課題で行う。	
3 学 期	1 月	第4章 極限 数列の極限 無限等比数列、無限級数	
	2 月	関数の極限、三角関数の極限 関数の連続性 第5章 微分法 微分係数と導関数、導関数の計算	
	3 月	いろいろな関数の導関数 第n次導関数、曲線の方程式と導関数	学年末テスト
春季 休業		基礎確認問題と発展問題の演習	

第6章 微分法の応用 第7章 積分法とその応用 は 3年次に継続して履修する。